

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市見附町計画	階数	地上9F
建設地	平塚市見附町22番4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	96 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2017年4月25日
敷地面積	475 m ²	作成者	グラフィス設計
建築面積	311 m ²	確認日	2017年4月25日
延床面積	2,090 m ²	確認者	グラフィス設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合	周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	0
Q1 室内環境	防音性能を高め、室内の防音化に努める	Q2 サービス性能 バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる	Q3 室外環境(敷地外)
LR1 エネルギー	住戸内の断熱性能を高め、建物の省エネルギー化を図る	LR2 資源・マテリアル 解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした。
LR3 敷地外環境	外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される